

芸術ニュースは世界へ発信するワールド・ステージ

週刊 芸術新聞

発行：アグリーシステム 週刊芸術新聞編集部
 本社：千葉県茂原市渋谷1016-12
 メール：agree@green.ocn.jp
 agree-sys@excite.co.jp

おもしろ体験博物館 江戸民具街道

神奈川県足柄上郡中井町久所418
 開館時間：10：00～17：00
 休館日：月曜日
 問い合わせ：0465-81-5339

東京都美術館

ポンピドゥー・

センター傑作展

20世紀のフランスアート丸わかり

斬新な 展示デザイン

フランス・パリの中心部にあるポンピドゥー・セン

ターは、美術や音楽、ダンス、映画など、さまざまな芸術の拠点となっている。本展では、ピカソやマティス、デュシヤン、クリストなどの巨匠の傑作から、日本ではあまり知られていない画家の名品も公開され、多種多様の展覧会に胸打たれてしまう。



ゴッホとゴーギャン展

今秋、二人の画家が上野で出会う！

東京都美術館では、「ポンピドゥー・センター展」の終了後、「ゴッホとゴーギャン展」が開催される。



このほど、関係者が集まり発表会が行われ、その内容が明らかにされた。今秋二人の画家が上野で出会う画期的な展覧会が開催されることになった。

なかでも、「最高傑作」と認められたゴッホの『収穫』、ゴーギャンの『ブドウの収穫、人間の悲惨』が国内初



開館前にマスコミに公開され、フランス20世紀美術を一望できる素晴らしい展示となっている。展示デザインは建築家・田根剛氏が担当した。



◆6月11日(土) 9月22日(木)

祝

東京都美術館 (東京都台東区上野公園 8 36) TEL 03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般 1600円 大学生・専門学校生 1300円 高校生 800円 65歳以上 1000円 中学生以下 無料 月曜日休館 (7/18、9/19 は開館)

次号は 6月30日発行

◆10月8日(土)～12月18日(日) 東京都美術館 企画展示室

熱海湾を一望でき、眺望ナンバーワンの美術館

MOA美術館 (静岡県熱海市桃山町 26) 電話 0557 (84) 2511

一般 1600円、高校生 800円、中学生以下 無料、65歳以上 1200円 木曜日休 (祝日は開館)

JR熱海駅下車/バス4番のりば MOA美術館行 8分

版画でみる20世紀展 ピカソからウォーホルまで 開催中!

諸橋近代美術館 (福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峰 1 093番 23) 一般 大学生 950円、高校生 500円、小・中学生 200円 生*毎週土曜日、小・中学生は無料 電話 0241(37) 1088

アントワネットも愛したフランスの布 西洋更紗 トワール・ド・ジュイ展

ドイツ出身のプリン
ト技術師、ク
リストフ＝
フィリッ
プ・オーベ
ルカンブ
(1738
1815
年)によつ
てヴェルサ
イユ近郊の
村、ジュイ
ニアン＝ジ
ヨザスの工
場で生み出
された西洋
更紗、トワ
ール・ド・ジ

ユイ(ジュイの布)。
工場が設立された1760
年から閉鎖する1843年
までにこの工場で生み出さ
れたテキスタイルのデザイ
ンは3万点を超えると言わ
れ、人物を配した田園風景
のモチーフだけでなく、
様々な花が散りばめられた
楽しいデザインのコットン
プリントが数多く伝えられ
ている。トワール・ド・ジュ
イ美術館の全面協力を得て
開催される本展は、西洋更
紗トワール・ド・ジュイの世
界を初めて紹介する。

田園モチーフの源泉を
フランドルのタペストリー
にたどり、世界中を熱狂さ
せたインド更紗を併せてご
覧いただくことで、オーバ
ルカンブの工場とトワール
・ジュイの誕生と発展の
物語を紐解き、独自の魅力
を発見していく。

メモ ◆6月14日
(火)〜7月31日
(日)
Bunkamura
ザ・ミュージアム(東京都
渋谷区道玄坂2-24-1
Bunkamura B1
F) TEL 03-5777
8600(ハローダイヤル)
一般1400円 大学・
高校生1000円 中学・
小学生700円 無休



Ⅲ 美の祝典 江戸絵画の華やぎ

出光美術館

**名だたる画家の
優品を…**

出光美術館開館50周年記
念「美の祝典」は、「やま
と絵の四季」(4/9〜5
/8)、「水墨の壮美」(5
/13〜6/12)まで開催され
てきた。今回はその閉めと
して「江戸絵画の華
やぎ」が開催される。
第三部のテーマは、日本
の絵画史上、大きな飛躍を
遂げた「江戸絵画」。
江戸は画家たちにとつ
て、清逸な新天地だった。
伝統的な価値観が解放され

てゆく時代を牽引したの
は、狩野派、琳派、そして
浮世絵といった諸派の画家
たちだった。
「祇園祭礼図屏風」、酒
井抱一「風神雷神図屏風」
など、社会的な階層を超え
て、さまざまな輝かしい活
躍をみせた名だたる画家の
優品を楽しめる。

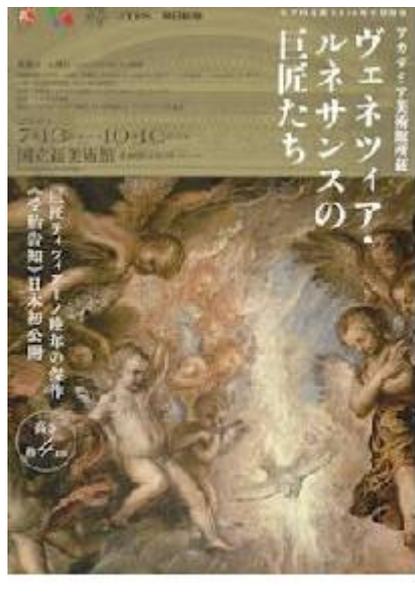
さらに、この期間中「伴
大納言絵巻」下巻を特別展
示される。

メモ ◆6月17日
(金)〜7月
18日(月・祝)
出光美術館(東京都千代
田区丸の内3-1-1 帝劇
ビル9階)専用エレベ
ーター) TEL 03-5777
8600(ハローダイヤ
ル) 一般1000円 高
大生700円 中学生以下
無料 月曜日休館 (た
だし月曜日が祝日および振替
休日の場合は開館)

ジョヴァンニ・ベッリ
ニからクリヴェツリ、カル
バッチョ、ティツィアーノ、
ティントレット、ヴェロ
ネーゼまで、名だたる巨匠
たちの傑作が一堂来日する
ことになった。
また、ヴェネツィア盛期
ルネサンス最大の巨匠ティ
ツィアーノが晩年に手がけ
た祭壇画の大作『受胎告知』
が特別出品されることも、
本展の大きな見どころにな
るでしょう。

メモ ◆7月13日(水)
〜10月10日(月・
祝)
国立新美術館(東京都港
区六本木7-22-2) TEL
03-5777-8600
(ハローダイヤル) 一般
1600円 大学生1200
円 高校生800円 中
学生以下無料 火曜日休館
(ただし8/16は開館)

ヴェネツィア・ルネサ ンスの巨匠たち



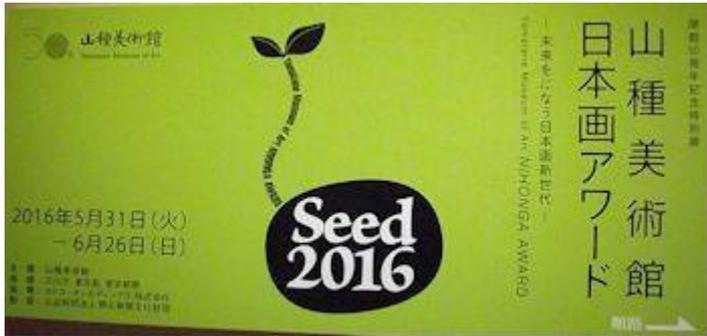
アカデミア美術館は、14
世紀から18世紀にかけての
ヴェネツィア絵画を中心
に、約2000点を数える
充実したコレクションを有
している。
日本とイタリアの国交樹
立150周年を契機とし

て、同館の所蔵品による本
邦初公開が実現した。
本展では、選りすぐれた
約60点の名画によって15
世紀から17世紀初頭にいた
るヴェネツィア・ルネサ
ンス絵画の展開を一望でき
る。

特集

山種美術館 日本画アワード

未来をにいう 日本画新世代



日本画アワードを新たな形で再開

山種美術館は、日本画の奨励・普及活動の一環として創設した「山種美術館賞」を、1971(昭和46)年

山種美術館では、開館50周年を記念し、かつて実施していた「山種美術館賞」の趣旨を継承した公募展「Seed山種美術館 日本画アワード」を新たな形で再開した。



から隔年14回にわたり開催、その展覧会である。このたび開館50周年を記念し、かつて実施していた「山種美術館賞」の趣旨を継承した公募展「Seed山種美術館 日本画アワード」を新たな形で再開した。

今日の日本画 山種美

術館賞展」から通算15回目となる本展は、これからの時代にふさわしい、日本画の新たな創造に努める優秀な画家の発掘と奨励を目指すこととなる。

本展では、厳正な審査の結果選ばれた受賞作品を含む40点の入選作品を展示、公開中。7人の審査員によ

メモ
◆ 5月31日(火) - 6月26日(日)
山種美術館 (東京都渋谷区広尾3-12-36) 休館
700円 (ハローダイヤル) 一般
大高生500円
中学生以下無料 月曜日



る白熱した審査が行われ、多数の力作の中から大賞・京都絵美《ゆめうつつ》、優秀賞・長谷川雅也《唯》、特別賞(セイコー賞)・狩俣公介《勢焰》、審査員奨励賞・外山諒《Living Pillar》*の4点の受賞が決定した。加えて、松尾敏男《翔》、小山硬《天草》(内戸)《ともに山種美術館》など、過去の「今日の日本画 山種美術館賞」の第



1回〜第4回の大賞と優秀賞作品12点を参考出品している。開館以来、各時代の日本画を応援してきた当館のあゆみを振り返るとともに、現在そして未来の日本画をにいう若手画家の作品をとおして、それぞれの時代の息吹を伝えてい

2016年8月5日までの主な展覧会情報

美術館・博物館ガイド

東京都内

●上野の森美術館 「ブータン しあわせに生きるためのヒント」 7月18日まで ㊦03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1400円 無休

●東京国立近代美術館 「声ノマ 全身詩人、吉増剛造展」 8月7日まで ㊦03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1000円 月曜日休館

●東京都庭園美術館 「メデイチ家の至宝」 7月5日まで ㊦03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1400円

6/22休館

●三井記念美術館 「北大路廬山人の美 和食の天才」 6月26日まで ㊦03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1300円 月曜日休館

●講談社野間記念館 「近代日本の美人画展」 7月18日まで ㊦03 3

945 0947 一般500円 月・火曜日休館

●ワタリウム美術館 「園子温展 ひそひそ星」 7月10日まで ㊦03 3402 3001 一般1000円 月曜日休館

●太田記念美術館 「歌川広重 東海道五十三次と富士三十六景ピピット」 6月26日まで ㊦03 777 8600 (ハローダイヤル) 一般700円 月曜日休館

●根津美術館 「特別企画 若き日の雪舟」 7月10日まで ㊦03 3400 2536 一般1100円 月曜日休館

●渋谷区立松濤美術館 「中島千波とおもちゃシリーズ 画家のひみつ」 7月10日まで ㊦03 465 9421 一般500円 月曜日休館

●森美術館 「六本木クロッシング…僕の身体、あなたの声」 7月10日まで ㊦03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1800円 無休

●森アーツセンターギャラリー 「世界遺産 ポンペイの壁画展」 7月3日まで ㊦03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般1600円 無休

●智美術館 「秋山陽アルケールへの海へ」 7月24日まで ㊦03 5733 5131 一般1000円 月曜日休館

●泉谷博古館分館 「数寄者住友春翠 和の美を愉しむ」 8月5日まで ㊦03 5777 8600 (ハローダイヤル) 一般800円 月曜日休館

●世田谷文学館 「上橋菜穂子と〈精霊の守り人〉展」 7月3日まで ㊦03 5374 9111 一般800円 月曜日休館

東京郊外

●武蔵野市立吉祥寺美術館 「佐伯和子展…糸の葉」 7月18日まで ㊦042 222 0385 一般1000円 6/29休館

●東京富士美術館 「ザ☆刀剣 千年の匠の技と美」 7月3日まで ㊦042 691 4511 一般800円 月曜日休館

●川崎市市民ミュージアム 「生きるアート 折元立身展」 7月3日まで ㊦044 754 4500 一般700円 月曜日休館

●県立神奈川近代文学館 「没後30年 鮎川信夫と「荒地」展」 6月19日まで ㊦046 622 666 一般400円 月曜日休館

●神奈川県立金沢文庫 「泥亀(でいき) 永島家の面影」 7月31日まで ㊦045 701 9069 一般250円 月曜日休館

●鎌倉国宝館 「常盤山文庫名品展」 7月18日まで ㊦0467 22 07 53 一般400円 月曜日休館

●佐野美術館 「日本近代洋画の巨匠 和田英作展」 8月7日まで ㊦055 975 7278 一般1000円 木曜日休館

関東南部

●茨城県近代美術館 「無限迷宮への夢 エッシーの世界」 7月10日まで ㊦029 243 5111 一般1190円 月曜日休館

●群馬県立近代美術館 「Flora! 花の饗宴」 6月26日まで ㊦027 346 5560 一般820円 月曜日休館

●笠間日動美術館 「田嶋陽子 書アート展 こもれる日々」 7月24日まで ㊦0296 72 21 60 一般1000円 月曜日休館

●足利市立美術館 「画家の詩、詩人の絵」 6月12日まで ㊦0296 7 00011 一般720円 月曜日休館

●大川美術館 「棟方志功とマルク・シャガール 挿絵版画の世界」 6月26日まで ㊦027 346 5560 一般820円 月曜日休館

関東北部

●箱根ラリック美術館 (神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186番1) 電話0460(84)2255 一般1500円、大学生・高校生・シニア(65歳以上)1300円、中学生・小学生800円年中無休

ルネ・ラリックの生涯と出会う

●箱根写真美術館 (神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300 432) 電話0460(82)2717 火曜日休館 毎週土曜日は夕方5時まで営業

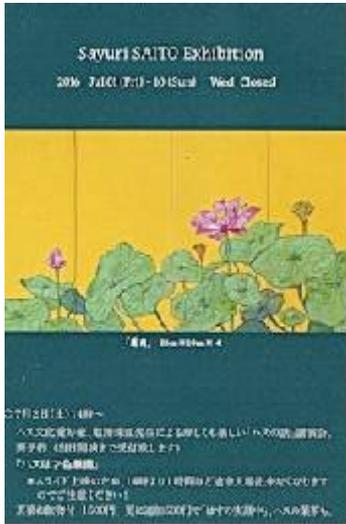
●箱根の景観と自慢のスウィーツを染しめず (神奈川県足柄下郡中井町久所418) 電話0465(81)5339 月曜日休館

●江戸民具街道 (神奈川県足柄上郡中井町久所418) 電話0465(81)5339 月曜日休館

●からくり人形な関係資料多数展示中

Art Topics

Art Gallery LOS PINOS & Cafe



この季節に「ハスの花」を、様々な描き方で鑑賞できます。
作家在廊日 17、18、19日、木曜日
「ハスの話」の講演会

齋藤さゆり展

ハスの花の魅力、今、開花

は7月2日(土) 14時より 要予約 茶菓お飲物 付1500円、更に追加500円で「はすの美最中」、ハスの葉茶も。

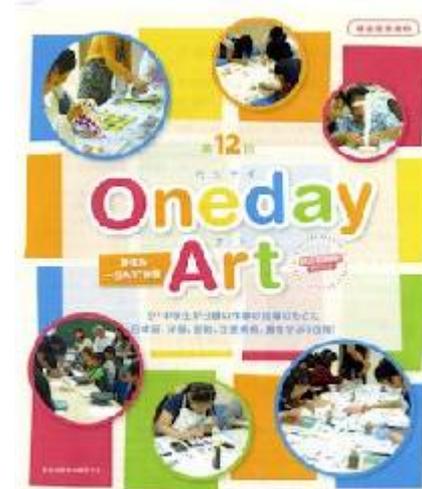
メモ

7月1日(金)〜7月10日(日)

営業時間 12:00〜19:00
水曜日休廊
S & Cafe
f e (神奈川)
県 藤 沢 市 南 藤
沢 7 6 1
0 2)
4 6 6
2 0 0 0
2 0 0 0

この夏、子どもたちにART体験を

小・中学生対象 《第12回Oneday Art》開催!



公募団体の日展では、日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書の5部門の作家が、小・中学生にそれぞれ好きな美術を体験し作品を制作する喜びを味わってもらおう『Oneday Art』を7月28日〜8月6日まで

の6日間にわたって日展会館で開催。各部門の定員は40名で参加者を一般公募。『申し込みは』ハガキに、住所・氏名・電話番号・学年・希望日(必ず第2希望まで) 明記のうえ申し込む。子どもが2名以上で参加希望の場合は、参加者全員の住所・氏名・電話番号・学年・希望日を明記(また、付き添い保護者参加の有無、要記名)。

募者多数の場合は抽選となる。参加費 教材費込み1名2000円(送料が必要の場合、別途800円) 各自で準備するもの 筆記用具・エプロン(洋服が汚れないようなもの)、タオル 昼食 午前開始の回のみ(7/31日本画、8/4洋画) 回によって他に用意するものがある場合は、ハガキの返信の際に一項入れ、ホームページにてお知らせ。

者が予め準備するものがある場合は、用紙を同封します。

『日展事務局』
住所 〒110 0000
2 東京都台東区上野桜木2丁目4番1号
電話番号 03 3821 0453
開館時間 午前10時から午後5時
日展ホームページ
http://www.nit.ten.or.jp/

名古屋ポストン美術館 18年度末閉館が決定

惜しむ声が多数寄せられたが

米田ボストン美術館の姉妹館として1999年に開館した「名古屋ポストン美術館」が愛知県名古屋市中央区金山町1-1-1が、2019年3月末までに閉館することが発表された。

このところの入館者の低迷が続く、超低金利で寄付金の運用にも行き詰まり、これ以上継続は財政的に厳しさを現実と感じ、ビル借用料もかさみ閉館を決定。

特別展

世界遺産ラスコー展

クロマニヨン人が残した洞窟壁画

2万年の時を
超え東京に出現

国立科学博物館 東京都台東区上野公園7-20

は、11月1日(火)から2017年2月19日(日)まで、特別展「世界遺産ラスコー展」を開催する。見どころはクロマニヨン人頭骨(複製標本、本展出品)や美術品(複製)を展示するので、マニユアにとつては欠かせない展示会となりそう。